

【都市および地方計画】

年 度	出 題 内 容
16年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. まちづくりにおいてバリアフリー環境を実現するための基本的視点についてユニバーサルデザインの考え方にも留意しながら述べよ。 2. 木造密集市街地の改善を進めるに当たって、地区内の従前居住者の円滑な合意形成を図るうえで考えられる方策と効果について述べよ。 3. 大都市および地方中小都市における交通結節点の課題と整備のあり方について述べよ。 4. 住民、企業、NPOなどの民間と行政の協働により都市の緑とオープンスペースを確保・活用するうえでの基本的視点と具体的方策について述べよ。 5. 地方都市の中心市街地の活性化を図る観点から、市街地再開発事業を計画・実施する場合の課題と留意点について述べよ。 6. 社会経済情勢が変化する中で、既成市街地における土地地区画整理事業の役割と事業を円滑に進めるための方策について述べよ。 7. 都市における建築物の屋上緑化の意義について述べるとともに、計画・設計上の留意点について記述せよ。
17年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成16年に制定された景観法について、法律制定の背景について述べるとともに、同法の内容に即しつつ、今後のまちづくりへの活用方策について述べよ。 2. 中心市街地の機能回復のため地域内での居住人口の増加を図ろうとする際、考えられる都市計画手法の活用方策を述べよ。 3. 現在のまちづくり上の課題に対応した土地地区画整理事業の推進方策について事業の特性を踏まえつつ述べよ。 4. 民有地において緑とオープンスペースを確保する方策について、平成16年に改正された都市公園法および都市緑地法に留意しつつ述べよ。 5. 保留床の一括処分に頼らず、保留床管理法人による持続的な賃貸経営により事業資金を回収する市街地再開発事業のあり方について述べよ。 6. 都市における今後の公共交通利用の促進を支援するための、駅および駅前広場、道路の改善方策について述べよ。 7. 都市公園における植栽基盤整備計画・設計の手順と内容について述べよ。

年 度	出 題 内 容
18年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地方都市の中心市街地問題について、都市全体のあり方に関わる構造的な問題として捉え、その再生に向けた課題と方策を述べよ。 2. 都市内道路の整備に当たり、トラフィック機能を重視する道路とアクセス機能を重視する道路の、それぞれに求められる特性と今日的課題および計画・設計上留意すべき事項について述べよ。 3. 大規模な集合住宅団地の再生が求められている背景、課題および対応策について論ぜよ。 4. それぞれの地域にふさわしい土地の適切な利用を行う、身の丈にあった市街地再開発事業が求められている背景と、これを推進するための方策について述べよ。 5. 社会経済状況が変化する中、既成市街地における土地区画整理事業について、その課題ならびに計画・実施に当たったの留意点を述べよ。 6. 京都議定書目標達成計画における都市緑化の位置づけについて説明せよ。また、それに留意して、地球温暖化対策としての都市緑化の進め方について述べよ。 7. これからの公園の運営管理のあり方について、指定管理者制度の活用にも留意しつつ述べよ。

年 度	出 題 内 容
19年度	<p>(A グループ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 都市における大規模な震災ならびに火災の被害を防止、軽減するためには、骨格となる公共施設を整備し、個々の建築活動を適切に規制、誘導することが有効とされる。この観点から、災害に強い都市構造の要件を述べ、現状の課題と、問題解決のための方策を述べよ。 2. 都市活動に起因する環境問題を3点列挙し、それぞれ簡単に解説せよ。その上で、環境負荷軽減のための都市計画の方向性と方策について、あなたの考え方を述べよ。 <p>(B グループ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 再開発ビルにおいて、地域の経済活力の低下等により、管理、経営上の問題が生じている例が見られる。どのようなことが問題になっているかを例示し、今後新たな市街地再開発事業を計画、実施する場合、当該問題を回避するためにいかなる方策をとるべきかを具体的に論ぜよ。 4. 近年、都市整備の多様な課題に対応するため、各種地区計画制度の活用が図られている。都市整備における課題、当該課題に対応するため適用されるべき地区計画制度、および期待される効果について、2つのケースをあげて述べよ。 5. 欧米を中心に路面電車を重視する都市交通政策が進められてきたが、最近わが国においても、各地で路面電車を重視する都市交通政策が検討されている。わが国において、このような検討が進められている社会的背景を述べた上で、都市交通システムとして路面電車を導入する場合の課題とその解決方策について述べよ。 注) ここでいう「路面電車」とは、いわゆるLRT(次世代型路面電車システム)を含め、主に道路上に敷設された軌道(併用軌道)を走行する電車システムのことをいう。 6. 既成市街地で土地区画整理事業を進める場合に、事業の計画、実施の各段階において事業を長期化させる要因、および事業の長期化によって引き起こされる問題を列挙するとともに、当該問題を考慮し、今後新たな土地区画整理事業を計画、実施する場合に、いかなる方策をとるべきか論ぜよ。

年 度	出 題 内 容
19年度	<p>7. 都市公園利用者の安全確保に関して、都市公園においてその対応が重要であると思われる危険を2つ掲げ、それぞれに対する安全確保の考え方と具体的な対応策を述べよ。</p> <p>8. 豊かで美しい地域における暮らしの実現や、社会の活力の向上のために、公園・緑化分野で緊急に取り組むことが必要な研究課題を3つ列挙し、それぞれの必要性と概要を述べよ。さらに、その課題のうちから1つを選び、その解決策について技術的な観点から解説せよ。</p>